資料4

Hyogo Prefecture

災害時歯科保健医療活動の推進について

災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題

令和8年8月
歯及び口腔の健康づくり推進部会
災害時歯科保健医療体制構築推進検討会

令和8年度 災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題等調査

■調査の概要

- 災害時歯科保健医療活動の推進に向け、関係団体の課題認識や平時から必要な備えを把握する。
- 調査結果をもとに、兵庫県における災害時歯科保健医療体制の整備に向けた課題と今後の論点を整理する。

■回答状況

回答依頼団体数		20団体
集計対象団体数	問1・3	18団体
	問2	15団体

※業務の性質上、設問内容に該当する回答が困難であった団体を除いて集計

■調査の構成（問1～問3）

- 問1　災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題【全団体対象】
- 問2　団体ごとの役割・災害時の関わり方を踏まえた設問【団体区分別】
- 問3　災害時の歯科保健活動を円滑に行うために必要な平時からの備え【全団体対象】

歯科専門職関係団体	医療・保健専門職関係団体	支援対象・調整関係団体
歯科医師会・歯科衛生士会・病院歯科医会	医師会・薬剤師会・看護協会・栄養士会・柔道整復師会	兵庫県学校校長会、兵庫県健康保険団体連合会、健康保険連合会 、難病団体連絡協議会、神戸新聞社、保育協会、手をつなぐ育成会、いずみ会、老人クラブ連合会、老人福祉事業協会、市長会、町村会
歯科の専門的役割を担う団体	医療・保健の立場で連携する団体	支援を受ける、または支援につなぐ団体
災害時に歯科保健医療活動を実施・支援する立場	歯科専門職と連携して被災者支援を行う立場	住民・会員・利用者への支援や情報提供、調整に関わる立場

令和8年度 災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題等調査票

問1各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

● 全団体共通 複数選択 補足自由記載

① 人材の確保・育成
② 他団体や行政との連携
③ 支援体制や役割分担の明確化
④ 情報共有の仕組みづくり
⑤ 資材・機材の確保
⑥ 研修・訓練機会の不足
⑦ 会員の災害対応意識の向上
⑧ 活動資金の確保
⑨ その他（自由記載）

問2 災害時の団体ごとの役割や災害時の関わり方を踏まえた設問

① 歯科専門職関係団体（n=3）

災害時に歯科保健医療活動ができる**人材育成の課題**について

② 医療・保健専門職関係団体（n=5）

歯科専門職と連携して被災者支援を行う際の**課題や歯科専門職への期待**について

③ 支援対象・調整関係団体（n=10）

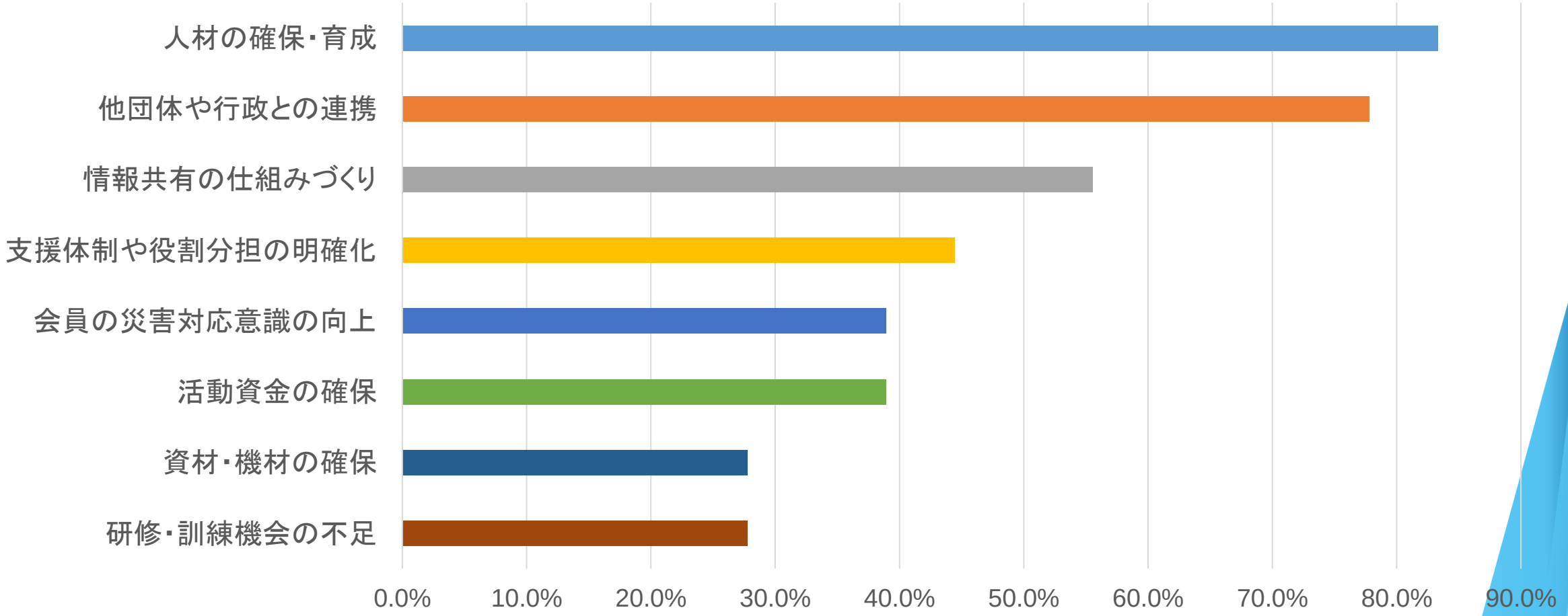
歯科専門職に期待する役割と**自団体として可能な備え**につい

問3 災害時の歯科保健活動に向けた平時からの備え

①災害時の連絡調整窓口や連絡体制の明確化
②平時から災害時を見据えた行政・歯科関係団体・保健医療福祉関係機関との連携体制構築と役割分担の明確化
③システムを活用した情報集約と共有体制の整備
④災害時保健活動マニュアル等への歯科に関する項目の記載
⑤災害時に必要となる資材・器材等の確保
⑥災害時の歯科保健活動を担うことができる歯科専門職の育成
⑦ 歯科専門職対象の研修・訓練の充実
⑧ 保健医療福祉関係団体との連携研修
⑨ 住民への平時からの防災情報の発信
⑩ 関係団体との顔の見える関係づくり

問1　各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

各項目を課題として選択した団体の割合

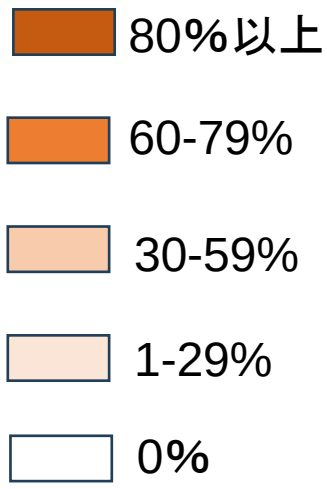


※回答団体18団体を分母として算出
※複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

問1　各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

各項目を「課題」として選択した団体の割合

	①歯科専門職団体(N=3)	②医療・保健専門職団体(N=5)	③支援・調整団体(N=10)	全体(N=18)
人材の確保・育成	66.7%(2)	80.0%(4)	90.0%(9)	83.3%(15)
他団体や行政との連携	66.7%(2)	80.0%(4)	80.0%(8)	77.8%(14)
支援体制や役割分担の明確化	33.3%(1)	40.0%(2)	50.0%(5)	44.4%(8)
情報共有の仕組みづくり	66.7%(2)	60.0%(3)	50.0%(5)	55.6%(10)
資材・機材の確保	33.3%(1)	20.0%(1)	30.0%(3)	27.8%(5)
研修・訓練機会の不足	33.3%(1)	40.0%(2)	20.0%(2)	27.8%(5)
会員の災害対応意識の向上	66.7%(2)	60.0%(3)	20.0%(2)	38.9%(7)
活動資金の確保	100%(3)	20.0%(1)	30.0%(3)	38.9%(7)
その他（自由記載）	33.3%(1)	0.0%(0)	0.0%(0)	5.6%(1)



※複数回答のため、
割合の合計は100%を超える

問1　各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

①歯科専門職関係団体

人材の確保・育成	（病院歯科医会）歯科医師会、医師会が主催するJDAT,JMAT研修への人員の派遣依頼による参加
他団体や行政との連携	（病院歯科医会）歯科医師会との連携により、平時、有事にでの対応を行っている
支援体制や役割分担の明確化	（病院歯科医会）勤務医の団体であるため、病院から災害支援活動参加への許可が必要となる。
情報共有の仕組みづくり	（病院歯科医会）現状はグループメールを使用し、情報の周知を行っている
資材・機材の確保	（病院歯科医会）持ち合わせなし。
研修・訓練機会の不足	（病院歯科医会）研修参加人数が限りがあり、全員の研修が終了するには年数がかかる
会員の災害対応意識の向上	（病院歯科医会）学生時代に災害に対する講義の有無により意識の違いがあると思われる
その他	（病院歯科医会）阪神・淡路大震災周年集会を開催（20年、25年、30年）など

問1　各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

②医療・保健専門職関係団体

人材の確保・育成	（医師会）開業医が多い組織であるため、地域医療を守る点での自身の診療との兼ね合い（診療所を休診にする必要がある）が課題 （薬剤師会）災害支援薬剤師の登録を促しているがなかなか増えてこない （栄養士会）毎年度、JDA-DAT兵庫のスタッフ及び育成研修会を実施しているが、スタッフ・リーダーともに地域偏在がある
他団体や行政との連携	(医師会)活動フェーズが同様の場合の医療救護班のバランスと連携 (薬剤師会)日々連携をとっていないと、担当者が変更になるとわからなくなる。引継ぎが必要
支援体制や役割分担の明確化	(薬剤師会)どの団体が何ができるのか。できることが重複することでの仕事の取り合いにならないよう分担が必要
情報共有の仕組みづくり	(医師会)ほぼ改善されつつあるが、組織によって扱う情報共有システムが異なること (薬剤師会)それぞれの団体が報告書を作成するが、共通の情報ツールがあると簡素化できる
研修・訓練機会の不足	(栄養士会)県主催の防災訓練等や日本栄養士会の研修に参加しているものの、参加者が限定されており、県栄養士会全体の訓練が実施できていない。
会員の災害対応意識の向上	(薬剤師会)災害が起こると意識は上がるが、すぐに低下してしまうところ (栄養士会)JDA-DAT兵庫のスタッフ・リーダー及び行政栄養士の意識は向上しているものの、一般会員の意識については向上しているとは言えない。
活動資金の確保	(薬剤師会)研修、資機材をそろえるにも資金は必要。県からの補助を期待する

問1　各団体での災害時の保健医療福祉活動を進める上での課題

③支援・調整関係団体

人材の確保・育成	(老人福祉事業協会)平時から深刻な人手不足が続いており、災害発生時（特に夜間・休日）に利用者の安全確保や避難誘導を行うための十分な参集要員を確保できるかどうかが極めて大きな課題です (老人クラブ連合会)会員が高齢化の為 (保育協会)災害時の口腔ケアに対応できる人材育成が必要
他団体や行政との連携	(保育協会)行政・歯科専門職との連携体制の構築が必要
支援体制や役割分担の明確化	(保育協会)災害時の支援内容や役割分担を明確にしたい
情報共有の仕組みづくり	(老人福祉事業協会)停電や通信インフラの遮断が発生した際、行政、法人の本部、職員の安否確認、近隣施設との間での情報伝達をどう確実に行うかが課題です。全職員が災害時に確実に使いこなせるかどうかに不安があります。 (保育協会)必要な情報を迅速に共有できる体制が必要 (いずみ会)他団体との連携状況など
資材・機材の確保	(保育協会)水不要の口腔ケア用品など備蓄の充実が必要
研修・訓練機会の不足	(保育協会)災害時の口腔ケアに関する研修を充実してほしい
会員の災害対応意識の向上	(保育協会)平時から口腔衛生の重要性を共有する必要がある
活動資金の確保	(保育協会)備蓄品整備への財政的支援が求められる

問2　①災害時に多職種と連携できる歯科専門職の育成に向けた課題

（歯科専門職関係団体より回答）

歯科医師会	現在、兵庫県内各郡市区に2名ずつの歯科医師が災害時に迅速にコーディネーターとして活動できるようJDAT研修会を年に一度開催しているが、今後、災害時に実働機会の多い歯科衛生士の数、技工士の数も増やしていく必要がある。必要であれば、栄養士やその他行政職の人も増やしていければと考えている。多職種連携については、JMATの研修で行けるのではないかと考える。
病院歯科医会	病院歯科医会では、研修の機会があれば、若手の先生を含めた先生方に受けていただけると思われます。
歯科衛生士会	歯科衛生士の災害時歯科保健研修会を例年行っているが、当会単独の研修会となっている。多職種との連携した育成研修会の必要性を感じる。また、受援を想定し、当会支部と郡市区歯科医師の連携強化、および行政、他団体と連携できる歯科衛生士の育成も必要。

問2　②歯科専門職と連携した被災者支援に向けた課題と期待
（医療・保健専門職関係団体からの回答）

医師会	医師会の災害医療活動は、JMAT（日本医師会災害医療チーム）として、避難所等における医療救護活動を担っており、避難所における口腔衛生管理は、保健医療活動としても重要である。県歯科医師会と本会は災害時の救護支援協定を締結しておりかつ、本会主催のJMAT兵庫研修には同協定に基づき専門職として参加いただいており、実災害での支援活動時の相互理解と連携強化を引き続き実施していきたい。
薬剤師会	急な避難における、避難者の義歯がない場合の対処。早期の口腔ケアによる感染症の予防。
看護協会	スクリーニング、アセスメントの結果、衛生士につなげていく体制の整備
栄養士会	災害時に歯科専門職と連携するためには、平時からお互いの職務理解と歯科と食べることの関係について理解を深め、顔のみえる関係づくりをしたいと考えています。

問2　③住民の口腔健康を守るために歯科専門職へ期待する役割と自団体の備え
（支援・調整関係団体からの回答）

小学校長会	災害時に避難生活が長期化するような場合には、まずは歯ブラシ・歯磨き粉等の物資の準備をしていただけるとありがたいと思います。また、むし歯や歯周病等の予防につながるような専門的な視点からのアドバイスをしていただきたいです。特に、こどもたちは避難生活で、生活リズムが乱れたり、ストレスが溜まったりすることが考えられるので、楽しく取り組めるような口腔ケアの啓発をしていただけるとありがたいです。
健康保険組合連合会兵庫県連合会	兵庫県下の各健康保険組合を通じ、加入者に対し、災害時を含めた歯科保健の重要性を認識させるような啓発の取り組みを行う
老人福祉事業協会	避難生活や断水下では要介護者の口腔衛生が急激に悪化し、誤嚥性肺炎のリスクが高まります。災害時には、施設への巡回による専門的な口腔環境の評価や、義歯の紛失・破損への迅速な応急対応、重度化リスクの高い入所者への重点的な口腔ケア指導などの役割を期待します。
老人クラブ連合会	期待する役割：口腔健康管理の啓発活動（診療や口腔ケアの指導）

問2　③住民の口腔健康を守るために歯科専門職へ期待する役割と自団体の備え

（支援・調整関係団体からの回答）

いずみ会	災害時は歯科口腔衛生に関して意識が薄くなりやすいため、各避難所にて歯科医師や歯科衛生士の巡回を行うなど支援体制があるとよりよいと考えます。 災害に備えた当団体の備えとしては、災害時にも歯科口腔衛生に対する意識が薄れないよう、日頃の食育教室を実施する時から口腔ケアの大切さを伝える癖付けをしていきたいと思います。
保育協会	災害時には、乳幼児や要配慮児は自ら十分な口腔ケアを行うことが難しいため、歯科医師や歯科衛生士などの歯科専門職には、応急歯科診療だけでなく、口腔衛生管理や誤嚥性肺炎等の災害関連疾病の予防、乳幼児や要配慮児に応じた口腔ケア方法の指導・助言を期待します。また、行政や保育施設と連携し、避難所や保育施設への巡回支援、保護者への相談対応、口腔ケア用品や情報の提供など、専門的な立場から継続的に支援いただける体制の整備を期待します。 一方、保育・認定こども園としては、平常時から歯磨きや食育を通じて口腔衛生の重要性を子どもや保護者へ伝えるとともに、災害時を想定した口腔ケアに関する知識の習得や職員研修を進めることが必要であると考えます。また、水を使用しない歯磨きシートや液体歯磨きなどの口腔ケア用品の備蓄について検討するとともに、行政や歯科専門職と連携し、災害時にも乳幼児や要配慮児が継続して口腔ケアを受けられる体制づくりに取り組んでいきたいと考えます。

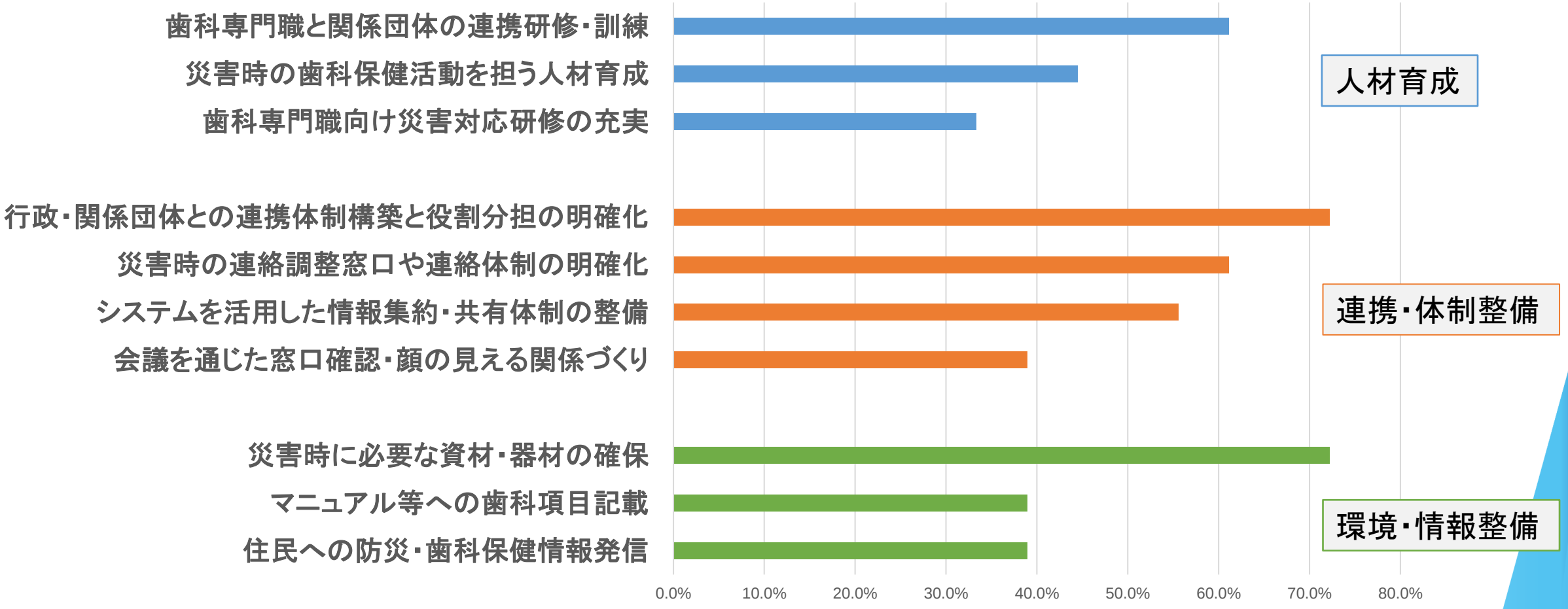
問2　③住民の口腔健康を守るために歯科専門職へ期待する役割と自団体の備え

（支援・調整関係団体からの回答）

町村会（福崎町）	水なしまたは少量の水を使った口腔ケアとして、歯みがきシートを使う方法などを避難所等で健康教育する役割。
市長会	①　歯科専門職への期待：避難所等での歯科保健指導、乳幼児や介護を要する高齢者への口腔ケア支援 ②　団体としての備え：発災時の口腔ケアや健康相談等に係る各関連機関（歯科医師会・歯科衛生士会、いずみ会等）との連携の在り方を具体的に詰めておく

問3　災害時の歯科保健活動を円滑に行うために必要な平時からの備え

各項目を必要な備えとして選択した団体の割合

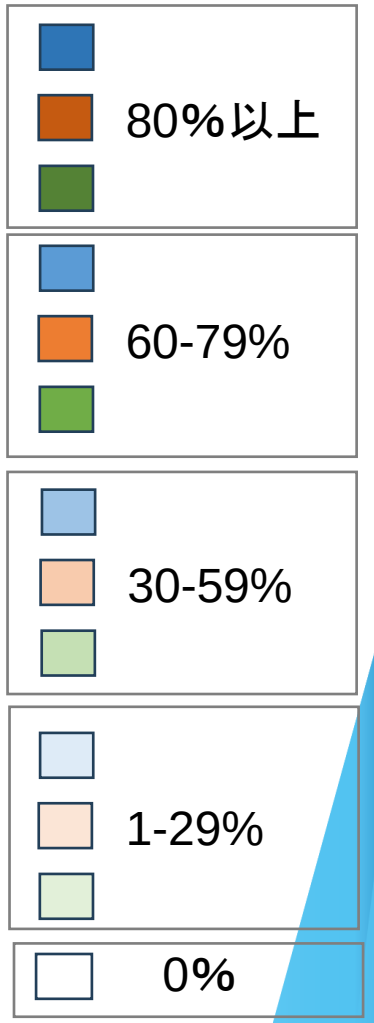


※回答団体18団体を分母として算出
※複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

問3　災害時の歯科保健活動を円滑に行うために必要な平時からの備え

団体区分別：各項目を「必要な備え」として選択した団体の割合

	①歯科専門職団(N=3)	②医療・保健専門職団体(N=5)	③支援・調整団(N=10)	全体(N=18)
歯科専門職と関係団体の連携研修・訓練	100%(3)	80.0%(4)	40.0%(4)	61.1%(11)
災害時の歯科保健活動を担う人材育成	100%(3)	40.0%(2)	30.0%(3)	44.4%(8)
歯科専門職向け災害対応研修の充実	100%(3)	20.0%(1)	20.0%(2)	33.3%(6)
行政・関係団体との連携体制構築と役割分担の明確化	100%(3)	60.0%(3)	70.0%(7)	72.2%(13)
災害時の連絡調整窓口や連絡体制の明確化	100%(3)	60.0%(3)	50.0%(5)	61.1%(11)
システムを活用した情報集約・共有体制の整備	66.7%(2)	80.0%(4)	40.0%(4)	55.6%(10)
会議を通じた窓口確認・顔の見える関係づくり	66.7%(2)	80.0%(4)	10.0%(1)	38.9%(7)
災害時に必要な資材・器材の確保	66.7%(2)	60.0%(3)	80.0%(8)	72.2%(13)
マニュアル等への歯科項目記載	100%(3)	20.0%(1)	30.0%(3)	38.9%(7)
住民への防災・歯科保健情報発信	100%(3)	20.0%(1)	30.0%(3)	38.9%(7)



※複数回答のため、割合の合計は100%を超える

調査結果の全体的な傾向
調査結果から見えた主な課題

1 共通課題は「人材」と「連携」
実際に活動できる人材の裾野拡大

83.3% 人材の確保・育成　77.8% 他団体や行政との連携

実際に活動できる人材をどう確保・育成し、団体間で連携するかが、団体区分を問わない共通課題。

※令和8年度 災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題等調査　問1より

2 団体間をつなぐ「仕組み」
連携・情報共有・役割分担の整備

55.6% 情報共有の仕組みづくり　44.4% 役割分担の明確化

連絡体制・情報共有・役割分担を平時から整理し、災害時に関係団体が円滑に動ける仕組みが必要。

※令和8年度 災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題等調査　問1より

3 歯科を含めた「多職種連携」
他職種から歯科へつなぐ体制

・医師、看護師、薬剤師、栄養士、行政等との連携
・スクリーニングやアセスメントから歯科専門職へつなぐ仕組み
・多職種の中で歯科が機能する人材育成が必要

4 避難生活を支える口腔保健と平時の備え
地域全体で支える口腔保健活動

72.2% 連携体制　61.1% 連携研修　55.6% 情報共有

- 口腔ケア、誤嚥性肺炎予防、義歯対応、要配慮者支援まで 避難生活を支える幅広い役割が期待されている 。
- 連携研修・連絡体制・情報共有を平時から整備。

※令和8年度 災害時歯科保健医療活動の推進に向けた課題等調査　問3より